

# 『エゴノキで洗剤を作ってみよう』



5月下旬（5月31日）、植物図鑑を眺めていたAが、『エゴノキの木の実を使って洗剤が作れる』というページをたまたま見つけました。

そのページを見続けているA。「やってみたい」と一言。しかし、担任は『エゴノキ』という植物の名を耳にするのは初めて。しかも、その植物は園にはない…

やってみたい気持ちが高まっているAに、何もしてあげることができないので、せめてもの思いを込めて、そのページをコピーして持ち帰らせました。

家庭で話題になるといいなと期待を込めて…。

その二日後（6月2日）、Aの母から「お父さんが広島市外でエゴノキを見つけた」とのお知らせが。「今は花の時期で、実が熟れるのは秋ではないか？」ということまで調べて知らせてくださいました。自分で洗剤を作りたい気持ちますます膨れあがっているA。

その後Aの父は、たまたま近所の方が持っておられた資料を基に、エゴノキを探しに行かれたようです。エゴノキは、木、葉だけを頼りに探すことは難しいようで、花が咲いている時がチャンス！牛田や、戸坂にもあることが分かり、とうとう、その果実をAの父は見つけられました。

早速、家で、実験したところ、2～3粒の果実からたくさんの泡ができたそうで、そのことを、Aは、とても興奮気味に話してくれました。

「ぜひ、クラスのみんなでも…」と、約10粒の果実を持たせてくださいました。



Aが図鑑で見つけたページをみんなで見ると、子どもたちの興味はとても大きく膨らみました。

そこで、さくら組・ふじ組で、それぞれ教室で、実験開始となりました。

## <準備物>

- ・エゴノキの果実
- ・水
- ・ペットボトル

## <作り方>

秋に熟れてしまったものではなくて、この時期の、青い果実を使用します。果実の皮を剥いたり、金槌などでつぶしたりして、容器に入れ、水を加えます。そして、シェイク！！



「どんな匂い？」 「レモンの匂いがする」「いい匂い」「鼻が詰まってるから よくわからん…」(笑)



できた洗剤で、食器洗いまで(笑)  
(ままごと用食器)  
「光とる！」 「ピカピカになる！」  
「ほんとに洗える！！」



A の、思いが持続していたエゴノキ洗剤作り。  
A とその家族のおかげで、クラスの友だちも、  
とても面白い実験に出会うことができました。

